<h1>会議議事録</h1>	作 成 日	令和7年1月15日(水)		
	作 成 者	事務局		
	事務局			
	商工振興課 課長 小島拓	商工振興課 係長 成塚弘幸	商工振興課 主任 近藤誠生	
会 議 名	第1回邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会			
開催日時	令和7年1月9日(木)	09:55-11:15	開催場所	邑楽町役場 101・102 会議室
出席者	<p>【委員長】 関口春彦（邑楽町副町長）</p> <p>【副委員長】 中村正明（関東学園大学経済学部経済学科教授）</p> <p>【委員】 相澤均（東部振興局長） 岡田勇一（邑楽町商工会副会長） 田村友莉香（ミニショップ代表） 小倉照夫（Silk Story Japan 代表） 篠田悦代（群馬銀行邑楽町支店長）※代理出席：山本氏（群馬銀行邑楽町支店） 中村武正（館林信用金庫邑楽町支店長） 小林淳一（邑楽町教育委員会） 斎藤順一（邑楽町役場財政課長）</p> <p>【事務局】 小島拓、成塚弘幸、近藤誠生（商工振興課）</p> <p>【委嘱状・任命書交付】 橋本光規（邑楽町長）</p>			
会議進行	1. 開会 2. 邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会の委嘱 3. 議題 4. 報告事項 5. その他			
議 事	<p>1. 開会</p> <p>2. 邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会の委嘱 （1）委嘱状・任命書の交付 （2）町長あいさつ （3）委員及び事務局の自己紹介 （4）委員長及び副委員長の選任</p> <p>3. 議題 （1）委員長あいさつ （2）議事録の公開について</p> <p>4. 報告事項 （1）邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会について・・・資料1 （2）邑楽町シンボルタワーの施設について・・・資料2</p> <p>5. その他</p>			

議事	発言者	内容
4. 報告事項	事務局	<p>(1) 邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会について【資料1】 資料1に基づき説明。</p> <p>①邑楽町シンボルタワー在り方検討委員会設置要綱について →多角的な視点から現状分析を行い、存続及び廃止を含めたシンボルタワーの将来の在り方を検討し、その結果を町長へ報告することを目的としている。</p> <p>②検討委員会設置に至る経緯について →令和2年3月議会にて、雨漏りの改修工事調査設計業務委託の予算説明をした。その際、議会から雨漏りだけでなく、他の要素も取り込んでやるべきとの提案を受けた。</p> <p>③トライアル・サウンディングについて →議会からの提案を受けて、令和4年度から令和5年度にかけて、トライアル・サウンディングを実施し、民間事業者から意見を徴収した。実績については、資料のとおり。</p> <p>④今後の日程について →第2回を令和7年1月30日(木)、第3回を令和7年2月20日(木)に予定している。</p>
	委員A	<p>【質疑】 代理出席になる可能性があり、意見は第2回の会議をまたずに事前に送付してもよいか。</p> <p>【回答】 事前に送付していただいて構わない。</p>
	委員B	<p>【質疑】 令和2年度雨漏り工事はやっていないのか？</p> <p>【回答】 していない。営業に支障がでる部分の雨漏りは適宜修繕を行っている。雨漏りが躯体に問題がないことは確認している。</p>
	事務局	<p>(2) 邑楽町シンボルタワーの施設について 資料2に基づき説明。</p> <p>①シンボルタワーの建設について →ふるさと創生1億円事業で民主主導型で建設された。町民のふるさと意識の高揚を図り、邑楽町の象徴として建設された。</p> <p>②運営体制について →町の直営運営。会計年度任用職員1名と高齢者活力センター職員1名の合計2名で運営している。</p> <p>③来場者数について →詳細は資料のとおり。トライアル・サウンディングを実施した、令和4年度と令和5年度は増加傾向。</p> <p>④建設費について →合計5億1432万9300円。</p> <p>⑤直近5年の収支表について →毎年、約200万円弱の赤字。歳出歳入の説明。</p> <p>⑥各種条例について →今後の方向性によっては、改正が必要になってくる。</p>

議事	発言者	内容
	<p>委員 C</p> <p>事務局</p> <p>委員 C</p> <p>事務局</p> <p>委員 C</p> <p>事務局</p> <p>委員 D</p> <p>事務局</p>	<p>⑦ 邑楽町最上位計画（総合計画）について → 中学 3 年生に邑楽町の魅力的な「場所」や「もの」についてアンケートをとったところ、おうら祭りについて全体の 2 位にシンボルタワーが入っていた。</p> <p>⑧ 大洗町訪問について → 大洗マリンタワーは建築年数や高さ形が似ているので、以前訪問しており、その訪問のまとめについて説明。</p> <p>【質疑】 この検討委員会は、まずはシンボルタワーが必要か必要では無いかを検討して、結果を町長へ報告することでよいか。必要となった場合、どのような事業をしていくのかを検討するのはまた別ということか。</p> <p>【回答】 そのとおり。存続が決定すれば、また来年度以降、別の機会を検討していく。</p> <p>【質疑】 現在の収益の赤字を今後、黒字にしていくような事業を検討していくのか。</p> <p>【回答】 赤字が少なくなるのはいいこと。しかし、行政が運営しているので、お金に現れない効果があると思う。（ふるさと意識の高揚など）収支を黒字にするのが目的ではない。</p> <p>【質疑】 意見を様々な方に聞いたうえで次回提案をしたい。今回の資料等を見せてもいいのか。</p> <p>【回答】 最終的には HP 等には公開する予定であるので、見せていただいても構わない。</p> <p>【質疑】 タワーが建設後、役場等が同じエリアに建設されたと思う。そういった計画があったのか。</p> <p>【回答】 公共施設をこのエリアに集約する計画があり、シンボルタワーがその中で最初に建設された。</p>
5. その他	事務局	<p>① 提出書類について → 会議終了後、第 1 回の通知に同封した、承諾書等の提出書類の提出をお願いしたい。</p> <p>② 次回の会議通知について → 第 2 回の会議通知について、会議終了後お渡しする。</p> <p>③ シンボルタワー見学について → 会議終了後、時間のある方はシンボルタワーをご案内する。</p>